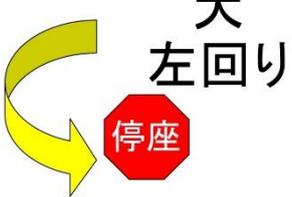
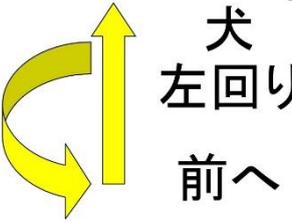
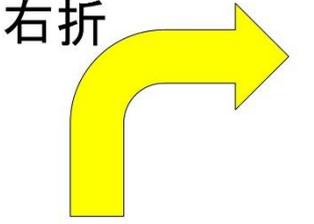
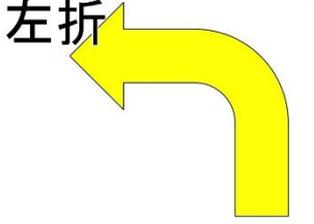
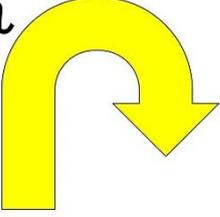
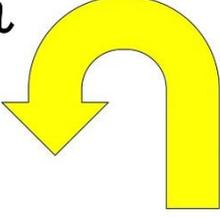
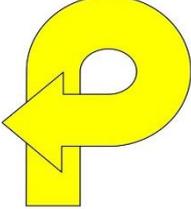
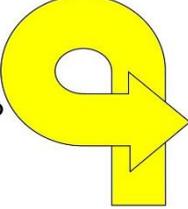
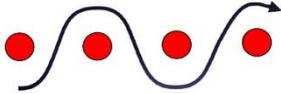
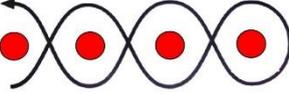
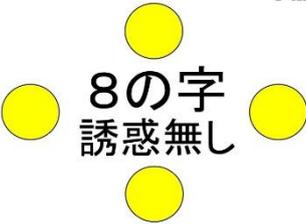


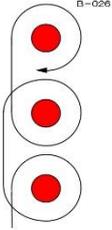
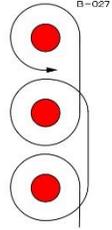
<p>クラス 1</p>	<p>定款規程細則全書掲載</p> <p>< >内は課目名</p>
<p>2-0a</p>  <p>犬 右回り</p>	<p><(1)右回り及び脚側停座></p> <p>指導手の右から後ろに回り脚側停座させる。</p>
<p>2-0b</p>  <p>犬 左回り</p>	<p><(2)左回り及び脚側停座></p> <p>指導手の左から回り脚側停座させる。</p>
<p>2-0c</p>  <p>犬 右回り 前へ</p>	<p><(3)右回り及び前進></p> <p>指導手の右から後ろに回り、そのまま前進して次の課目に向かう。</p>
<p>2-0d</p>  <p>犬 左回り 前へ</p>	<p><(4)左回り及び前進></p> <p>指導手の左から回り、そのまま前進して次の課目に向かう。</p>
<p>B-001</p> 	<p><105 脚側停座></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座させる。なお、指示なし停座、指示あり停座のどちらでもよい。</p>

 <p style="text-align: right;">B-002</p>	<p><106 脚側停座及び伏臥> パネル左側の作業エリアで、脚側停座後に伏臥を促し、伏臥から停座させずに次の課目に向かう。</p>
 <p style="text-align: right;">B-003</p>	<p><107 脚側停座、伏臥及び脚側停座> パネル左側の作業エリアで、脚側停座後に伏臥を促し、続けて停座を促し次の課目に向かう。</p>
 <p style="text-align: right;">B-004</p>	<p><108 脚側停座及び犬周回（左回り）> パネル左側の作業エリアで脚側停座させる。指導手は左回りで犬を一周して犬の右側で止まる。その後、指導手は少し静止して次の課目に向かう。指導手は、犬の周りを回る時に待てを促しても良いが、動きながらの指示は減点となる。</p>
 <p style="text-align: right;">B-005</p>	<p><109 脚側停座、伏臥及び犬周回（左回り）> パネル左側の作業エリアで脚側停座させる。停座後伏臥を促し指導手は左回りで犬を一周して犬の右側で止まる。その後、指導手は少し静止して次の課目に向かう。指導手は、犬の周りを回る時に待てを促しても良いが、動きながらの指示は減点となる。</p>
 <p style="text-align: right;">B-006</p>	<p><110 右折> パネル前側の作業エリアで、右に曲がる。</p>
 <p style="text-align: right;">B-007</p>	<p><111 左折> パネル前側の作業エリアで、左に曲がる。</p>

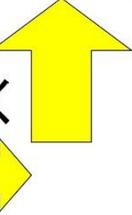
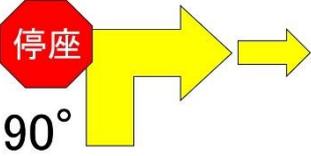
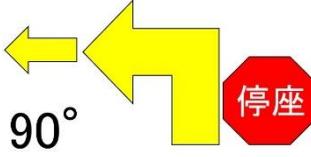
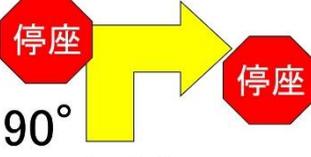
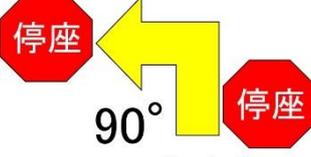
<p>回れ 右</p>  <p style="text-align: right;"><small>B-008</small></p>	<p>< 1 1 2 回れ右 ></p> <p>パネル前側の作業エリアで180度、回れ右をする。指導手と犬は、そのまま止まらず次の課目に向かう。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>
<p>回れ 左</p>  <p style="text-align: right;"><small>B-009</small></p>	<p>< 1 1 3 回れ左 ></p> <p>パネル前側の作業エリアで、180度、回れ左をする。指導手と犬は、そのまま止まらず次の課目に向かう。</p>
<p>反転ターン： 指導手は回れ左 犬は回れ右</p>  <p style="text-align: right;"><small>B-010</small></p>	<p>< 1 1 4 反転ターン ></p> <p>パネル前側の作業エリアで、反転ターン（ドイツターン）をする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>
 <p>270° 右</p> <p style="text-align: right;"><small>B-011</small></p>	<p>< 1 1 5 270度右回り ></p> <p>パネル前側の作業エリアで、270度右回りをする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>
<p>270° 左</p>  <p style="text-align: right;"><small>B-012</small></p>	<p>< 1 1 6 270度左回り ></p> <p>パネル前側の作業エリアで、270度左回りをする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>
 <p>360° 右</p> <p style="text-align: right;"><small>B-013</small></p>	<p>< 1 1 7 360度右回り ></p> <p>パネル左側の作業エリアで、360度右回りをする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>

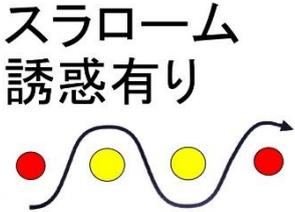
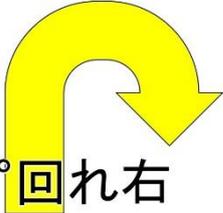
 <p>正面停座</p> <p>B-014</p>	<p>< 118 正面停座 ></p> <p>脚側行進中に、パネル左側の作業エリアで正面停座させる。正面停座を促す時に指導手は4歩まで下がっても良い。ただし、横に動く、止まってから再度動くことは減点となる。当課目は、(1)~(4)のいずれか1つの課目と組み合わせて使用される。</p>
 <p>緩歩</p> <p>B-015</p>	<p>< 119 緩歩 ></p> <p>パネル左側作業エリアから緩歩を行う。指導手と犬は、はっきりと課題の違いが分かるように行うこととし、次の歩度が変わるパネルまで続ける。</p>
 <p>速歩</p> <p>B-016</p>	<p>< 120 速歩 ></p> <p>パネル左側作業エリアから速歩を行う。指導手と犬は、はっきりと課題の違いが分かるように行うこととし、次の歩度が変わるパネルまで続ける。</p>
 <p>常歩</p> <p>B-017</p>	<p>< 121 常歩 ></p> <p>パネル左側作業エリアから常歩を行う。指導手と犬は、はっきりと課題の違いが分かるように行うこととする。</p>
 <p>螺旋 右回り</p> <p>犬は外側</p> <p>B-018</p>	<p>< 122 螺旋 (右回り) ></p> <p>指導手と犬は、犬を外側にして約150cm 間隔で配置された3つのコーンを、螺旋状に右回り (時計回り) をする。最も遠いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ると次の課目に向かう。</p>
 <p>螺旋 左回り</p> <p>犬は内側</p> <p>B-019</p>	<p>< 123 螺旋 (左回り) ></p> <p>指導手と犬は、犬を内側にして約150cm 間隔で配置された3つのコーンを、螺旋状に左回り (反時計回り) をする。最も遠いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ると次の課目に向かう。</p>

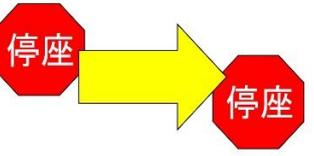
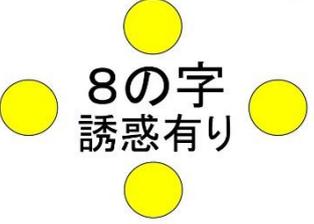
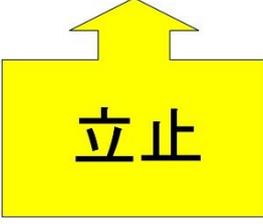
<p>スラローム 片道</p> <p>B-020</p> 	<p>< 1 2 4 スラローム (片道) ></p> <p>約150cm 間隔で配置された4つのコーンを、指導手と犬は、最初のコーンを犬の左肩から入りスラロームを行う。</p>
<p>スラローム 往復</p> <p>B-021</p> 	<p>< 1 2 5 スラローム (往復) ></p> <p>約150cm 間隔で配置された4つのコーンを、指導手と犬は、最初のコーンを犬の左肩から入りスラロームを往復して行う。</p>
<p>8の字 誘惑無し</p> <p>B-022</p> 	<p>< 1 2 6 8の字 (誘惑なし) ></p> <p>指導手と犬は、パネル右側の給餌容器から入り3m幅の給餌容器を8の字で脚測行進し通過する。8の字の最後は、最初に入った方向とは反対方向に出ていき止まらずに次の課目に向かう。</p>
<p>停座</p> <p>犬が人の周りを回る</p> <p>停座</p> <p>B-023</p> 	<p>< 1 2 7 犬の指導手周回 ></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座後、犬に右回りで指導手の周りを回ることを促し犬に脚側停座させる。脚側停座後は次の課目に向かう。</p>
<p>停座</p> <p>1歩前進</p> <p>停座</p> <p>B-024</p> 	<p>< 1 2 8 チームで1歩前進 ></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座後に、指導手は犬とともに1歩前進して、脚側停座させる。脚側停座後は、次の課目に向かう。</p>
<p>正面停座</p> <p>1歩後進</p> <p>B-025</p> 	<p>< 1 2 9 正面停座及び1歩後退 ></p> <p>脚側行進中、パネル左側の作業エリアで正面停座を促す。その際に、指導手は4歩まで下がることできる。正面停座後、指導手と犬は1歩後退して再び正面停座を促す。この時に、指導手と犬は作業エリアから出ても良い。当課目は、(1)~(4)のいずれか1つの課目と組み合わせて使用される。</p>

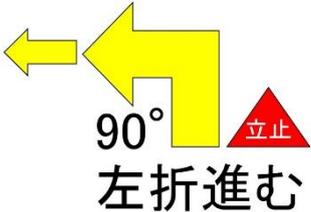
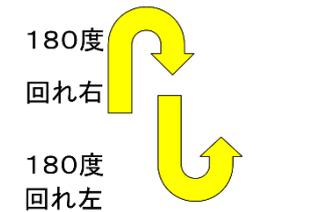
<p>螺旋回り 犬外側</p> 	<p>< 1 3 0 螺旋回り（犬外側） > 約150cm 間隔で配置された3つのコーンの周りを、犬は指導手の外側で螺旋右回り（時計回り）をする。最も近いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ったら、次の課目に向かう。</p>
<p>螺旋回り 犬内側</p> 	<p>< 1 3 1 螺旋回り（犬内側） > 約150cm 間隔で配置された3つのコーンの周りを、犬は指導手の内側で螺旋左回り（反時計回り）をする。最も近いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ったら、次の課目に向かう。</p>

クラス 2

 <p>1-101</p>	<p><201 360度左回り> パネル左側の作業エリアで360度左回りを行う。</p>
<p>1-102</p> <p>行進中 横に動く 右</p> 	<p><202 行進中の右移動> 脚側行進中に、パネル前側の作業エリアから指導手と犬は1歩右に移動する。指導手は脚側行進中、右足から1歩右に移動し、その後左足も移動する。指導手と犬が右に動いてから、パネルの右側を通過して、次の課目に向かう。</p>
<p>1-103</p>  <p>90° 右折進む</p>	<p><203 90度右折> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手と犬は90度右折して、次の課目に向かう。</p>
<p>1-104</p>  <p>90° 左折進む</p>	<p><204 90度左折> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手と犬は90度左折して、次の課目に向かう。</p>
<p>1-105</p>  <p>90° 右折</p>	<p><205 90度右折及び脚側停座> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手と犬は90度右折して、脚側停座を促し脚側停座後、次の課目に向かう。</p>
<p>1-106</p>  <p>90° 左折</p>	<p><206 90度左折及び脚側停座> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手と犬は90度左折して、脚側停座を促し脚側停座後、次の課目に向かう。</p>

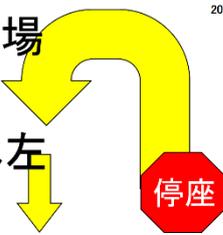
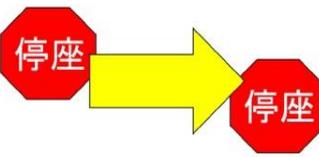
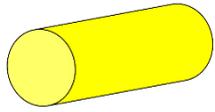
<p>1-107</p> 	<p><207 脚側停座及び3連続前進> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手と犬は1歩前進して脚側停座、続けて2歩前進して脚側停座、更に3歩前進して脚側停座を行い、次の課目に向かう。次のパネルは約5m以上離す。</p>
<p>1-108</p> 	<p><208 正面停座及び3連続後退> パネル左側の作業エリアで正面停座をさせる。正面停座を行うにあたり、4歩まで下がることことができる。正面停座後、指導手と犬は1歩後退して正面停座、続けて2歩後退して正面停座、更に3歩後退して正面停座を行い、次の課目に向かう。指導手は、犬が正面停座に入った時から足を動かしてはならない。当課目は、(1)~(4)のいずれか1つの課目と組み合わせて使用される。前のパネルは約5m以上離す。</p>
<p>1-109</p> 	<p><209 伏臥> パネル左側の作業エリアで伏臥をさせる。指導手は止まったら直接伏臥を促し伏臥から、次の課目に向かう。</p>
<p>1-110</p> 	<p><210 脚側停座及び速歩> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手は犬に脚側を促し速歩で、次に向かう。</p>
<p>1-111</p> 	<p><211 スラローム（片道・誘惑あり）> 約150cm 間隔で配置された2つのコーン及び2つの給餌容器を、指導手と犬は最初のコーンを犬の左肩から入り、スラロームを通過する。給餌容器にはおやつを入れ、蓋をした状態とする。</p>
<p>1-112</p> 	<p><212 180度右回り> パネル前側の作業エリアで、その場の180度右回りをする。指導手は回る時、足を4回動かすことができる。</p>

 <p>180°回れ左</p>	<p><213 180度左回り> パネル前側の作業エリアで、その場の180度左回りをする。指導手は回る時、足を4回動かすことができる。</p>
 <p>1歩前に動く</p>	<p><214 指導手1歩前進> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手のみ1歩前に移動して進行方向の向きで止まり、脚側停座促す。停座後、次の課目に向かう。指導手は犬から離れる時に待てを促しても良い。</p>
 <p>1歩右に動く</p>	<p><215 指導手1歩右> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手のみ1歩右に移動して進行方向の向きで止まり、指導手は犬に脚側停座を促す。停座後、パネルの右側を通過して、次の課目に向かう。指導手は犬から離れる時に待てを促しても良い。</p>
 <p>停座 1歩後進 2歩後進 3歩後進</p>	<p><216 脚側停座及び3連続後退> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。脚側停座後、指導手と犬は1歩後退して脚側停座、続けて2歩後退して脚側停座、更に3歩後退して脚側停座を行い、次の課目に向かう。前のパネルは約5m以上離す。</p>
 <p>8の字 誘惑有り</p>	<p><217 8の字(誘惑あり)> 指導手と犬は、おやつを入れ蓋をした給餌容器4つの間を8の字で通過する。8の字の最後は、最初に入った方向とは、反対方向に出ていき止まらずに次の課目に向かう。幅、3m×1.5m。 3m幅の食器で8の字行進を行う。</p>
 <p>立止</p>	<p><218 立止> パネル左側の作業エリアで立止をさせる。指導手は立止を促す時、少し動いても良いが立止したら犬の右横に戻り静止する。立止後、次の課目に向かう。</p>

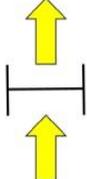
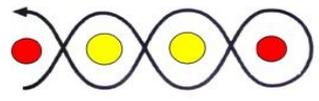
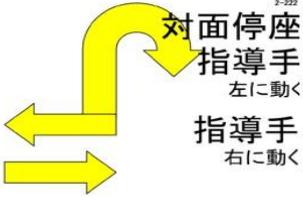
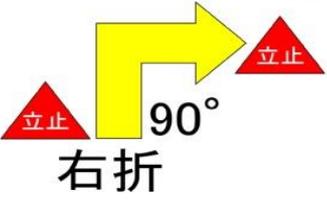
 <p>1-110</p>	<p><219 立止及び90度右折> パネル前側の作業エリアで立止をさせる。指導手は立止を促す時、少し動いても良いが、立止したら犬の右横に戻ることとする。確実に立止した後、指導手と犬は90度右折して次の課目に向かう。</p>
 <p>1-120</p>	<p><220 立止及び90度左折> パネル前側の作業エリアで立止をさせる。指導手は立止を促す時、少し動いても良いが、立止したら犬の右横に戻ることとする。立止後、指導手と犬は90度左折して次の課目に向かう。</p>
	<p><221 停座-1歩前進立止-2歩前進停座-3歩前進伏臥> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。指導手は犬と一歩前進して立止を促す。次に2歩前進して停座を促す。次に3歩前進し伏臥を促し、伏臥から次の課目に行く。指導手は立止を促す時、少し動いても良いが、立止したら犬の右横に戻ることとする。</p>
	<p><222 正面停座及び1歩後退・伏臥> パネル左側の作業エリアで正面停座を促す。その時、指導手は4歩まで下がることできる。正面停座後、指導手と犬は1歩後退して正面で伏臥を促す。伏臥から当課目は、(1)~(4)のいずれか1つの課目と組み合わせて使用される。</p>
	<p><223 2回180度、回れ右・回れ左> パネル左側の作業エリアでチームは右180度曲がり、2~3歩進んだ後左180度曲がり次の方向に進みます。</p>
 <p>1-120</p>	<p><224 2回180度、回れ左・回れ右> パネル左側の作業エリアでチームは左に180度曲がり、2~3歩進んだ後右180度曲がり次の方向に進みます。</p>

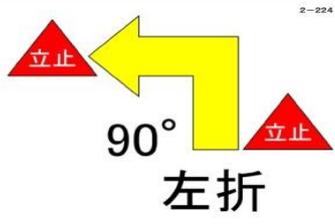
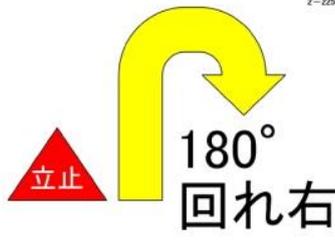
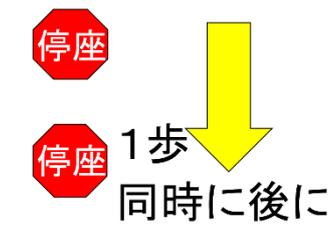
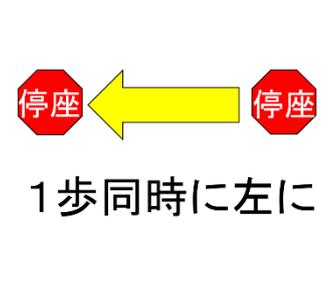
クラス 3

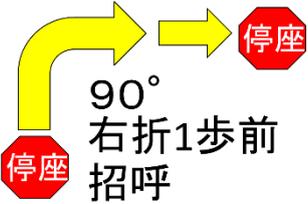
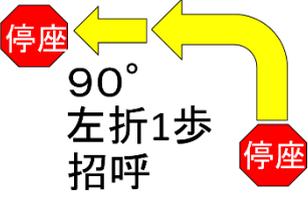
 <p>2-201</p> <p>その場の90° 右折1歩進む</p>	<p><301 90度右折及び脚側停座></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。指導手はその場で90度右折する。右折後、指導手は1歩前進して脚側停座を促し次の課目に向かう。指導手は、停座した場所で右折に最大2歩足を動かすことができる。</p>
 <p>2-202</p> <p>その場の90° 左折1歩進む</p>	<p><302 90度左折及び脚側停座></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。指導手は、その場で90度左折する。左折後、指導手は1歩前進して脚側停座を促し次の課目に向かう。指導手は、停座した場所で左折に最大2歩足を動かすことができる。</p>
 <p>2-203</p> <p>その場、180° 回れ右</p>	<p><303 180度右回り及び停座></p> <p>パネル左側の作業エリア内で脚側停座をさせる。停座後、指導手は犬にその場の180度右回りを促し、180度回転後脚側停座を促す。指導手は停座した場所で回転に最大4歩足を動かすことができる。</p>
 <p>2-204</p> <p>その場、180° 回れ左</p>	<p><304 180度左回り及び停座></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手は犬にその場の180度左回りを促す。180度回転後脚側停座を促す。指導手は停座した場所で回転に最大4歩足を動かすことができる。</p>
 <p>205</p> <p>その場で180° 回れ右,進む</p>	<p><305 180度右回り></p> <p>パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手と犬はその場で180度右回りを行い、次の課目に向かう。指導手は停座した場所で回転に最大4歩足を動かすことができる。</p>

<p>その場 180° 回れ左 進む</p>  <p>206</p>	<p><306 180度左回り> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手と犬はその場の180度左回りをを行い、次の課目に向かう。指導手は停座した場所で回転に最大4歩足を動かすことができる。</p>
 <p>1歩右に動く</p> <p>2-207</p>	<p><307 チームで1歩右> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手は脚側を促し犬と同時に1歩右に動き脚側停座を促す。その後、パネルの右側を通り次の課目に向かう。犬は指導手の足と並行に移動します。</p>
<p>トンネル</p>  <p>2-208</p>	<p><308 トンネル> 指導手は、トンネル通過を命じる。トンネル通過後、脚側を促し次の課目に向かう。犬の通過がハンドラーよりも早い場合、指導手は速歩又は、トンネル通過後に犬を招呼することは許される。トンネルは直線又は曲げて良い。直線の場合パネル間は約10mとする。</p>
 <p>2-209</p>	<p><309 脚側停座及び立止> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手はその場の立止を促す。指導手は立止を確認後次の課目に向かう。</p>
 <p>2-210</p>	<p><310 脚側停座、立止及び脚側停座> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手はその場の立止を促す。その後、停座を促し次の課目に向かう。</p>
 <p>2-211</p>	<p><311 脚側停座及び待て> パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。指導手は停座後、犬に待てを促し次の課目に向かう。当課目は、213・215、216、214+正面停座の場合(1)~(4)のうちいずれか一つの課目と組み合わせて使用される。</p>

	<p><312 行進中の伏臥> パネル左側の作業エリアで指導手は止まり伏臥を促す。指導手は伏臥後、犬に待てを促し次の課目に向かう。当課目は、213・215、216、214+正面停座の場合(1)~(4)のいずれか一つの課目と組み合わせて使用される。</p>
	<p><313 指導手・犬の元へ> 指導手だけパネル作業エリアまで進み指導手は反転ターンし犬の元に戻る。少しの間静止し次の課目に向かう。</p>
	<p><314 対面及び招呼> 指導手だけパネル作業エリアまで進み、犬と対面する。対面後、犬を招呼して正面停座または直接停座させる。犬が停座動作中、指導手は動いてはならない。正面停座の場合(1)~(4)のいずれか1つの課目と組み合わせて使用される。</p>
	<p><315 招呼及び脚側行進> 指導手だけパネル作業エリアで進行方向に立ち止まり犬を招呼する。指導手は上半身動いても良いが、足は進行方向のままとする。犬が指導手に近づくと脚側を促し、止まることなく次の課目に向かう。脚側行進に移行するとき最低犬の頭は指導手の脚に近づくこと。</p>
	<p><316 対面、招呼及び脚側行進> 指導手だけパネル作業エリアまで進み、犬と対面する。指導手は、犬を招呼し、脚側を促し停座させることなく次の課目に向かう。</p>
	<p><317 行進中の障害又はハードル飛越> 障害又はハードルはパネル約3m以上前方、指導手が歩くコースの左側におく。指導手は脚側行進中犬に飛越を促し飛越後、犬を脚側につけ次のパネルへ進む。次のパネルは障害又はハードルから約5m離す。</p>

<p>2-218</p> <p>障害 飛越</p> 	<p><318 障害飛越></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。停座後、指導手は犬に待てを促し、指導手だけ次の課目に向かう。当課目は、215、216、214+正面停座の場合(1)~(4)のうちいずれか一つの課目と組み合わせて使用されるが必ず障害又はハードル飛越をする。</p>
<p>2-219</p> <p>脚側行進 中、犬は 360° 左回り</p> 	<p><319 脚側行進中の360度左回り></p> <p>パネル左側の作業エリアで犬に指導手の左側で360度左回りを促し、チームは脚側行進で止まることなく次の課目に向かう。</p>
<p>2-220</p> <p>スラローム 往復 誘惑有り</p> 	<p><320 スラローム (往復・誘惑あり)></p> <p>約150cm 間隔で配置された2つのコーン及び2つの給餌容器で行う。指導手と犬は、最初のコーンを犬の左肩から入り、スラロームを往復して行う。給餌容器にはおやつを入れ、蓋をした状態とする。</p>
<p>2-221</p> <p>正面立止</p> <p>1歩下がる 立止</p> <p>2歩下がる 立止</p> <p>3歩下がる 立止</p> 	<p><321 正面立止及び3連続後退></p> <p>パネル左側の作業エリアで正面立止をさせる。正面立止まで指導手はまっすぐ4歩下がることことができる。正面立止後、指導手と犬は1歩後退し正面立止、続けて2歩後退し正面立止、更に3歩後退し正面立止を命じ、(1)~(4)のうちいずれか一つの課目と組み合わせて使用され、次の課目に向かう。犬が立止動作中、指導手は足を動かすと減点される。</p>
<p>2-222</p> <p>対面停座 指導手 左に動く</p> <p>指導手 右に動く</p> 	<p><322 正面停座、1歩左及び1歩右></p> <p>パネル左側の作業エリアで正面停座をさせる。正面停座に指導手は、まっすぐ4歩まで下がることことができる。犬が正面停座後、指導手と犬は1歩左に動き正面停座を促し、続けて指導手と犬は1歩右に動き正面停座を促す。当課目は、(1)~(4)のうちいずれか一つの課目と組み合わせて使用され、次の課目に向かう。</p>
<p>2-223</p> <p>90° 右折</p> 	<p><323 90度右折及び立止></p> <p>パネル前側の作業エリアで脚側立止させる。指導手は犬に脚側を促し、犬とともにその場90度右折し立止する。立止後、次の課目に向かう。指導手は、立止した場所で右折に最大2歩足を動かすことができる。</p>

 <p>立止</p> <p>90°</p> <p>立止</p> <p>左折</p>	<p><324 90度左折及び立止></p> <p>パネル前側の作業エリアで脚側立止させる。指導手は犬に脚側を促し、犬とともにその場で90度左折し立止する。立止後、次の課目に向かう。指導手は、立止した場所で左折に最大2歩足を動かすことができる。</p>
 <p>立止</p> <p>180°</p> <p>回れ右</p>	<p><325 180度回れ右></p> <p>パネル前側の作業エリアで脚側立止させる。指導手は犬に脚側を促し、犬とともにその場で右180度回り、次の課目に向かう。指導手は立止した場所で回転に最大4歩足を動かすことができる。</p>
 <p>180°</p> <p>回れ左</p> <p>立止</p>	<p><326 180度回れ左></p> <p>パネル前側の作業エリアで脚側立止させる。指導手は犬に脚側を促し、犬とともにその場で左180度回り次の課目に向かう。指導手は立止した場所で回転に最大4歩足を動かすことができる。</p>
 <p>立止</p> <p>1歩進む</p> <p>立止</p> <p>2歩進む</p> <p>立止</p> <p>3歩進む</p> <p>立止</p>	<p><327 立止及び3連続前進></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側立止させる。立止後、指導手は脚側を促し、犬とともに1歩前進し立止、続けて2歩前進し立止、更に3歩前進し立止を促し、次の課目に向かう。</p>
 <p>停座</p> <p>1歩</p> <p>同時に後に</p> <p>停座</p>	<p><328 チームで同時に1歩後退></p> <p>パネル左側の作業エリアで脚側停座をさせる。指導手は脚側を促し、犬と同時に1歩後退し、犬に脚側停座を促す。その後次の課目に行きます。犬は指導手の足と並行に移動します。</p>
 <p>停座</p> <p>1歩同時に左に</p> <p>停座</p>	<p><329 チームで同時に1歩左></p> <p>パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。指導手は左足から左に一步踏み出しその後右足を移動し脚側停座を促します。左へのクロスステップも可能です。犬は指導手の足と並行に移動します。</p>

	<p><330 90° 右折-1歩前-招呼-脚側停座> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。 指導手のみ 90° パネルのように右折します。右折する間犬は座ったままで、指導手は指定された方向に一步踏み出して停止し、指導手は犬を呼び脚側停座を促します。犬にマテを促してもよい。</p>
	<p><331 90° 左折-1歩前-招呼-脚側停座> パネル前側の作業エリアで脚側停座をさせる。 指導手のみ 90° パネルのように左折する。左折する間犬は座ったままで、指導手は指定された方向に一步踏み出して停止し、指導手は犬を呼び脚側停座を命じます。犬にマテを促してもよい。</p>
	<p><332 立止・犬の周りを回る> パネル左側の作業エリアで脚側立止させる。立止後、指導手は左回りで犬を一周して犬の右側で止まる。その後指導手と犬は次の課目に向かう。この課目中犬は立止以外の動作をしてはいけない。</p>
	<p><333 立止・犬は人の周りを右回り> パネル左側の作業エリアで犬に脚側立止を命じる。立止後、指導手は犬単独で（右回り）を促す。回った後、犬に立止を促し立止確認後次の課目に進む。犬が回っている時、指導手の足は動かしてはいけない。指導手の足は犬と平行で指導手の肩幅まで開いても良い。</p>